

敦賀市議会 同志会

議 会 報 告



同志会 立石武志／豊田耕一／林 正男



敦賀市議会は、市に対して、敦賀きらめき温泉リラ・ポート(以下リラ・ポート)の指定管理に係る問題点を明らかにし、今後の再発防止を図り、リラ・ポートの現指定管理会社である浜名湖グラウンド・ゴルフパークと真摯に協議し、早期の営業再開と運営継続ができるよう対応を求めていますが、未だリラ・ポート及びグラウンドゴルフ場リラ・グリーン(以下リラ・グリーン)の再開の目処は立っていません。

リラ・ポートの問題について

敦賀市が多くの市民の要望に応え、平成14年に約36億円を投じて建設した、市及び市民の財産であるリラ・ポートと、平成28年に2億2千万円を投じたリラ・グリーンが令和2年2月5日をもって休止されました。リラ・ポートは令和元年12月末時点で**3,554,000人以上**が、リラ・グリーンは3年間で**64,000人以上**が訪れる**敦賀市では有数の集客力のある施設**であっただけに、敦賀市の福利厚生や経済に与える影響も大きなものであります。さらに、前指定管理者である北陸南洋ビルサービスと、現指定管理者である浜名湖グラウンド・ゴルフパークは、多くの市内事業者への支払いも滞っています。また、販売した前売り入浴券の取り扱い等、未だ市民の皆様には大きなご負担とご心配をかけ続けています。



敦賀市議会 同志会 議会報告

同志会 立石武志／豊田耕一／林 正男

敦賀市と指定管理者の意見の食い違い

- 現指定管理者が自主的にリラ・ポートの経営を引き継いだのか否か。
- 前指定管理者の未払い金は、現指定管理会社がすべてを引き受けるのか否か。
- 前指定管理者の報告は適正であったのか否か。

敦賀市は今後どのように考えているのか(渕上市長答弁より)

リラ・ポートは、現在も年間150,000人以上、リラ・グリーンは、年間16,000人以上の方々に利用いただいている、敦賀市民や観光客の憩いの場として重要な施設と考えています。今後も継続していきたいと考えています。

同志会の考え方

平成29年6月、北陸南洋ビルサービスは経営破綻しました。そのことを受け、敦賀市が北陸南洋ビルサービスの指定管理を取り消しました。本来なら、その時点でリラ・ポートのオーナーである敦賀市が一旦休業した上で、経営破綻をした北陸南洋ビルサービスの財務等の精査検証をするべきであったと考えます。まして、負債については、北陸南洋ビルサービスに責任を持たすのが当然であり、実際に北陸南洋ビルサービスは、市内納入業者に3,600万円もの不払い金があります。また、前売り回数券1,180万円及び指定管理料1,160万円を清算返済せずにいることから、さらに傷口が広がりました。今回の事案に対して真摯に向き合わなかった市の責任は重いと、同志会として指摘をしてきましたが、今後においても市民ならびに観光客誘致に向け、早急な開業を訴えていきます。

